

都市再生整備計画 事後評価シート
文化交流拠点地区

平成26年4月

鳥取県鳥取市

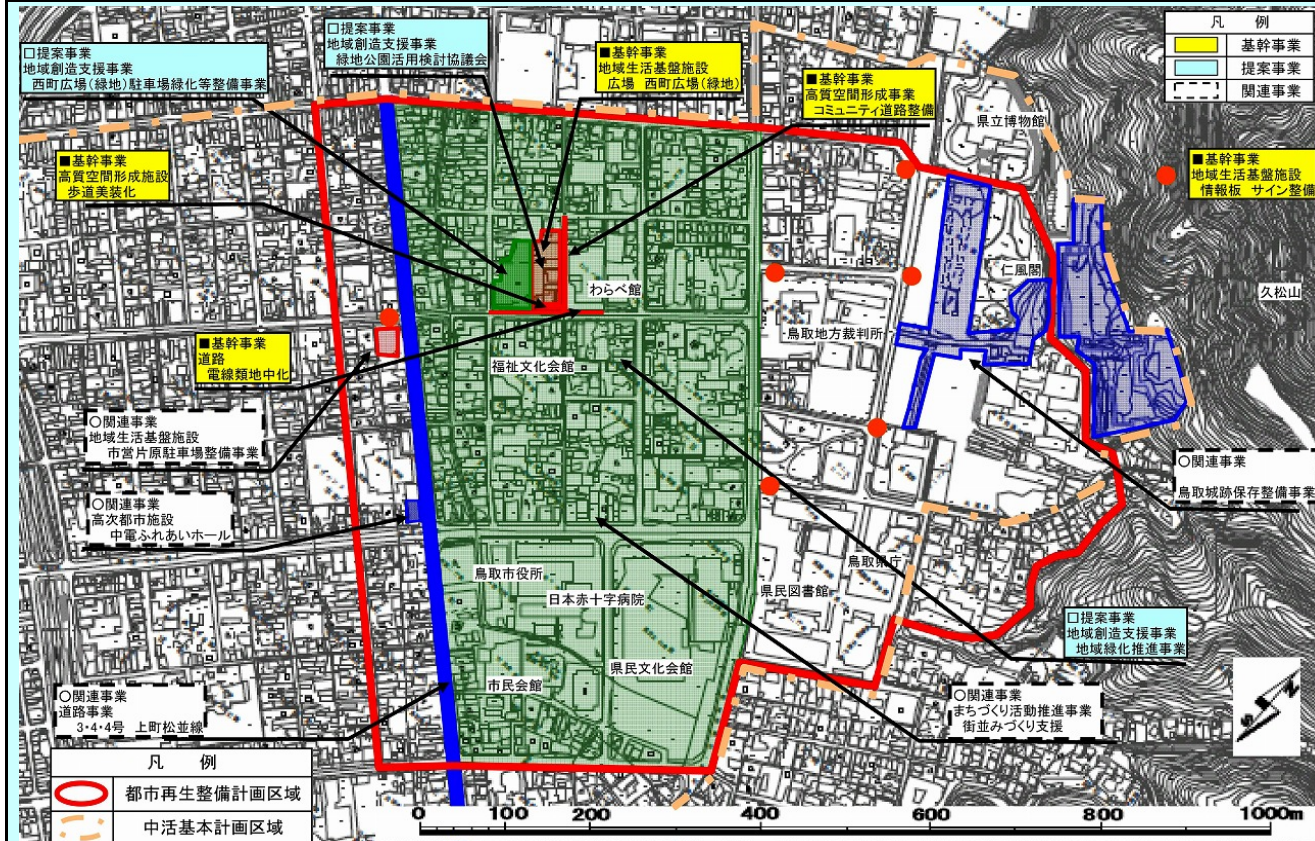
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鳥取県		市町村名	鳥取市		地区名	文化交流拠点地区			面積	60 ha	
交付期間	平成20年度～平成24年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	598百万円	国費率	0.417			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		道路:電線類地中化 地域生活基盤施設:西町広場(緑地)整備、情報板サイン整備 高質空間形成施設:コミュニティ道路整備、歩道美装化							
			提案事業		地域創造支援事業:緑地公園活用協議会事業、地域緑化推進事業、駐車場緑化等整備事業							
	当初計画から削除した事業		基幹事業		地域生活基盤施設:市民ふれあい広場整備		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			提案事業		-		-			-		
			基幹事業		-		-			-		
			提案事業		-		-			-		
新たに追加した事業		基幹事業		-		-			-			
		提案事業		-		-			-			
交付期間の変更		当初	平成20年度～平成24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし					
		変更	平成20年度～平成24年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	わらべ館入館者数	人/年	123,205人	H18	136,000人	H24		×	あり なし ○	事業実施内容と指標との関連性が薄く、直接的な事業効果の計測につながらなかった。	-
	指標2	市街地の緑の満足度	%	36%	H19	45%	H24		○	あり なし	平成24年4月に西町広場を芝生広場として供用開始し、緑の空間を創出したことが指標の達成につながった。	-
指標3	歩行者通行量	人/12h	1,715人	H19	1,800人	H24		○	あり なし	電線類地中化による景観に配慮した空間の創出、近隣駐車場と連携した駐車場システムの構築及びサイン整備による回遊性の向上が指標の達成につながった。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
その他の数値指標1	西町広場におけるイベント実施数	回	-	-			2 (H25)			平成24年4月に西町広場を誰もがくつろぐことができる空間として供用開始した。広場でのイベントを募集したところ、1回のイベントで100名程度の参加者があるなど、人を街なかに誘導することができた。	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 整備した西町広場(名称:わらべ夢ひろば)は、隣接するわらべ館との一体性を考慮した整備により明るく開放的な空間となっており、周囲からの見通しも良いことから、日常的に多くの親子連れや子供たちで賑わっている。 西町広場では、わらべ館と地元町内会の共同開催によるふれあいイベントや、わらべ館の企画によるわらべ遊びの体験が行われて好評を博しており、今後ますますの活用が期待される。 西町広場とわらべ館との間にあった車道を歩行者専用のコミュニティ道路としたことで、子供たちが広場とわらべ館を安全に行き来することができる。 											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-	
	住民参加プロセス	緑地公園活用協議会を行い、西町広場の効果的な活用策について検討を行った。					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● -	
持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				- -		

様式2-2 地区の概要

文化交流拠点地区(鳥取県鳥取市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 緑豊かで、多様な交流の拠点として美しく魅力的な市街地の実現をめざす。	わらべ館入館者数	単位: 人/年 123,205人 H18	136,000人 H24	119,319人 H24
目標1: 鳥取市の文化・交流・観光回廊の拠点となる空間を整備し、人を街なかに誘導する。	市街地の緑の満足度	単位: % 36% H19	45% H24	64% H25
目標2: 地域の緑化率の向上を図り、ゆとりや潤いを創造して、都市イメージの向上や居住者や来訪者の快適性を高める。	歩行者通行量	単位: 人/12h 1,715人 H19	1,800人 H24	2,402人 H25
目標3: 歴史や文化、景観を活かした街なみの形成や各種都市機能のネットワーク化により、来訪者や歩行者の回遊性を高める。		単位: H	H	H
		単位: H	H	H



西町広場整備



コミュニティ道路整備



歩道美化 電線類地中化



西町広場(緑地)駐車場緑化等整備



情報板 サイン整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地における快適なまちなか居住の促進を図る上で、西町広場を中心とした「集い」「にぎわい」「憩い」の拠点が整備できた。 ・西町広場を芝生広場として整備したことで、地区内にまとまりのある緑の空間を創出することができ、自然と調和した潤いのある都市景観の形成につながった。今後は、街路樹、民家の庭や垣根等の緑化推進など、連続性のある緑の空間を創出することが課題である。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・西町広場が、賑わい・交流の拠点として、より市民に親しまれる施設となるよう、イベントの実施や日常的な利用促進を行う。あわせて、文化・歴史的観光施設の整備によるまちの魅力向上により、まちの回遊性を高め、文化交流拠点地区の活性化を図る。 ・街路樹の整備、民家の庭や垣根等の緑化等、連続性のある緑の空間を創出するため、今後も啓発活動を実施していくとともに、住民と協働で緑を保全・創出するための支援等について検討を行う。